

令和3年度 弟子屈町立川湯中学校学校経営の概要

弟子屈町教育のめざす姿

- ＝学校、家庭、地域社会が連携し、ふるさとを創る人を育む＝
- ・体力を増進し、心身ともに健康で豊かな生活を築く人
 - ・郷土を愛し、進んでふるさとの文化を創る人
 - ・自然と調和した活力と潤いのあふれた郷土づくりにつとめる人
 - ・働くことに誇りをもち、よりよい家庭や社会の建設につとめる人
 - ・生涯にわたって自ら学びつづける人

めざす学校像

- 生徒にとって、安心して通い、学ぶことのできる学校
- 保護者・地域にとって、信頼でき、共に子どもの成長を見守る事のできる学校
- 教師にとって、働くことに誇りと喜びを実感できる学校

学校教育目標

- 1 知性に富み 自主性をもつ人
- 2 豊かな情操と 創造性をもつ人
- 3 健康で強い 意志をもつ人
- 4 協調と責任を 重んずる人

めざす教師像

- 学校教育目標の具現化に向けて協働する教師
- 学ぶ意欲を持ち、授業で勝負できる教師
- 子どもが好きで、表現力豊かに伝える教師
- 生徒・保護者・地域・同僚から信頼される教師

＝ 経営方針 ＝

生徒一人一人を正しく理解し、「生きる力」を育成するために全力を尽くす
教職員がお互いを信頼し、協働する
生徒、保護者、地域の期待に応える

《 生徒の実態 》

強み：素直、純粹、真面目、郷土愛
弱み：根気、忍耐力、柔軟さ、主体性、社会参画意識、調整力、コミュニケーション力、人間関係形成能力

学校課題 失敗を恐れず、持ち味を生かして表現する生徒の育成

5つのC：Chance, Challenge, Change, Communication & Control

進んで学び、
確かな学力を身に付けた生徒

感性を働かせ、
考えや思いを表現する生徒

心身ともに健康で、
諦めずにやり抜く生徒

自他を大切にし、
自らの役割を果たす生徒

- ①生徒一人一人の主体的な学びを支援した「確かな学力」の定着
- ・何のために学ぶのかを意識した授業づくり
 - ・授業と家庭学習のリンク
 - ・ICTを活用した「わかった」「できた」を実感できる授業
 - ・目標・課題の明示と正対した振り返りまとめのある授業
- ②キャリア教育の充実
- ・自己理解を基にした系統的計画
 - ・社会人として生き抜ける能力を育むキャリア教育

- ①ふるさと川湯のよさを知り、愛する心の育成
- ・川湯エコミュージアムセンターと連携した環境教育
 - ・地域の素材、人材を積極的に活用
- ②地域社会をより良く創造する心の育成
- ・地域行事の紹介と参加意欲の啓発
 - ・姉妹都市交流への意識高揚

- ①基本的生活習慣の確立
- ・生活リズムチェックシートを生かした健康バランスのとれた生活の確立
 - ・授業に向かう学習習慣の確立
- ②体力の向上と安全指導の充実
- ・健康維持・体力向上へ向けた運動習慣の確立
 - ・学校の新しい生活様式を中心とした衛生意識の高揚
 - ・外部講師を活用した安全教室の充実

- ①豊かな心を育む道徳教育と体験活動の充実
- ・考え、議論する道徳の授業実践の蓄積と参観日における授業公開の継続
 - ・体験的な活動や地域の人々とのふれあいを通じた自他を尊重する豊かな心の醸成
- ②プロセスを大切にした生徒指導の充実
- ・日常活動や行事等の取組の中で個々の特性を生かしつつ自己肯定感を高める指導の充実

－今年度の学校経営の重点－

- 「授業改善」：ICTを活用した3つの資質・能力を育む個別最適な学びと協働的な学び「学習者中心の授業」への転換
「地域連携」：コミュニティ・スクール（地域の学校）として保護者及び地域の信頼の下、双方向で創り上げる教育活動の展開
「業務改善」：「何のために」「なにを」「どのように」を意識・共有した業務推進

地域の学校（川湯小学校・川湯中学校）学校運営協議会

- ・川湯小中9年間で育てる川湯の子どもの姿の共有
- ・コミュニティ運動会の実施を中心とした地域との一体感の向上
- ・川湯地区に存在する教育資源の発掘と活用

【教育者としての大前提】

人は最後まで理想に一歩でも近づくように学びつづけていなければならない。そういう意味では私たち教職員も生徒と同様に未完成の存在です。立場の違いはあるが、上から目線ではなく、同じ学ぶ者として共に高めあう存在でありたい。